

令和7年度 授業改善推進プラン < 美術 >

練馬区立大泉西中学校

	課題分析	授業改善策	評価
1年	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校で初めて取り組む技法や制作方法に興味をもっている生徒が多い。一方、消極的な生徒も一定数いる。 ○制作の際に自分が表現したいことを具体的に想像できていない生徒が多い。 ○授業アンケートでは、「授業外で意欲的に学習することができた」と回答している生徒が少ないことから、生活の中にある美術的視点や芸術的要素に気付いていないことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料や板書を充実させる。 ○机間指導の中で一人一人の活動を丁寧に見て、生徒が質問しやすい状況をつくる。 ○発想の段階でどのように考えを深め、まとめていくのか、発想の仕方について丁寧に指導する。 ○美術が絵画や彫刻作品の制作だけでなく、身近にもあることに気付くような発問をしたり、授業の題材に関連する有名作品や製品について鑑賞したりするなど学習の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体説明と机間指導により、生徒が必要に応じた質問をしながら作業に取り組むことができた。 ○発想を視覚化(スケッチ)するプロセスを導入した結果、生徒の独創的なアイデアが収束し、明確な案へとつながった。 ○社会や生活における美術の役割について理解を深め、日常生活の中の事象を造形的な視点でとらえ直す資質を育成した。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで培ってきた技能や発想力を活かして制作に取り組んでいるが、さらに個性を発揮し、発展した表現をしている生徒が少ない。 ○授業アンケートでは、「授業外で意欲的に学習することができた」と回答している生徒が少ないことから、生活の中にある美術的視点や芸術的要素に気付いていないことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒自身がどんな個性をもっているかに気付かせるため、様々な作品に触れさせ、どう感じるか、その感じ方と向き合う場面をつくる。 ○美術が絵画や彫刻作品の制作だけでなく、身近にもあることに気付くような発問をしたり、授業の題材に関連する有名作品や製品について鑑賞したりするなど学習の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な作品に触れる鑑賞活動を通して、自身の心情や気づきを言語化する機会を設けたことにより、生徒が自らの感性や個性に自覚するよう促すことができた。 ○社会や生活における美術の役割について理解を深め、日常生活の中の事象を造形的な視点でとらえ直す資質を育成した。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的で美しい仕上がりになる制作の手順を理解できていない生徒が多く見受けられる。 ○授業アンケートでは、「授業外で意欲的に学習することができた」と回答している生徒が少ないことから、生活の中にある美術的視点や芸術的要素に気付いていないことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○制作の見通しを立たせるために、計画表を表示し、各工程の平均的な所要時間と制作のポイントを伝える。 ○美術が絵画や彫刻作品の制作だけでなく、身近にもあることに気付くような発問をしたり、授業の題材に関連する有名作品や製品について鑑賞したりするなど学習の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板書や動画、写真を活用した説明により視覚化を図った。それにより、生徒が見通しを持って取り組み、効率性や仕上がりの美しさを意識した主体的な制作活動を促すことができた。 ○社会や生活における美術の役割について理解を深め、日常生活の中の事象を造形的な視点でとらえ直す資質を育成した。